

WBF 千里シリーズ
2015

初出場初優勝！

古豪・城戸秀行、12年ぶり参加で
初の栄冠へ一気！

記：馬場 毅

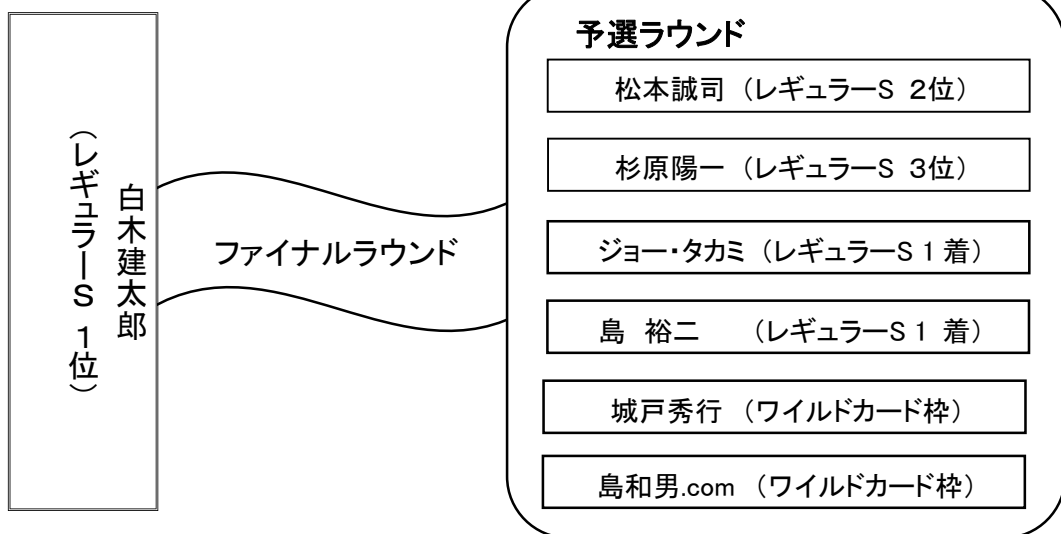
◆序章◆

スポーツの秋恒例の WBF 千里シリーズは、10 月 17 日(日)に今年新装されたピースボウル曾根店(旧ボウル曾根)にて開催された。

白木建太郎選手の強さが際立った 2015 年シーズンだが、千里シリーズにおいてもその強さを見せつけるのか？

それとも予選ラウンドから勝ち上がった選手が、下克上を成し遂げるのか？

ここ数年予選ラウンド勝者がシリーズも制する傾向が見られ、ルール改正が議論的になる中、熱戦の火蓋は切って落とされた。



(次ページに続く)

◆予選ラウンド◆

苦節26年！ 藤原選手が念願のファイナル進出！

ある意味、千里シリーズ本戦以上にドラマチックな予選ラウンド。今年も出場権を賭けた白熱のバトルが繰り広げられた。

第1ゲーム

各選手が立ち上がり苦しむ中、高見選手が独特のシュート気味ストレートボールをバシバシキメて、176点(素点145点)で暫定トップに。

第2ゲーム

うってかわって大混戦。1ゲーム目の好調を維持する高見選手がリードしていたが、中盤で失速。堅実なボウリングで追走していた城戸選手がトップに躍り出て、189点(素点160点)でフィニッシュ。

途中まで死んだふりをしていた？松本誠選手が猛チャージをかけたが、10フレで力尽き、一歩及ばずの179点(素点179点)。

この結果、城戸選手が予選ラウンドを制し、シリーズ本戦の出場権を獲得した。

2015千里シリーズ 予選リーグ

選手	最高点	競技点	
城戸秀行	160	189	選出
松本誠司	179	179	
ジョー・タカミ	147	178	
島裕二	130	163	
杉原陽一	145	135	

城戸選手がファイナル進出

(次ページに続く)

◆ファイナルラウンド第1戦◆

予想外のロースコアを制したのは挑戦者・城戸選手

注目の初戦は意外なロースコアバトルとなった。予選で待たされたせいか、白木選手はヘッドピンを外すわすペアメイクできないわで、シーズン王者らしからぬ不本意な投球の連続。対する城戸選手も、予選とはうってかわって白木選手にお付き合い。

ギャラリーから「金返せ！」などと心無い野次が飛ぶ中、ハンデ差にもものを言わせて城戸選手が辛くも勝利。それにしても白木選手、ウォーミングアップ不足にしても立ち上がりが遅すぎる。何かがおかしい。

白木建太郎 (シーズン優勝)	7 1	7 -	7 2	×	×	9 /	7 /	5 7 -	7 /	9 -		4
	8	15	24	53	73	90	107	114	133	142		146
ハンデ込み 得点差⇒	↓36	↓38	↓38	↓14	↓13	↓5	↓7	↓10		↓9	1勝	HDCP 競技点
城戸秀行 (ワイルドカード)	9 /	9 -	6 3	4 1	×	9 -	7 /	9 /	G 8	8/9		29
	19	28	37	42	61	70	89	99	107	126		155

◆ファイナルラウンド第2戦◆

堅実ボウルで城戸選手が王手！

白木選手はこのゲームでも調子が上がらず、ストライクがなかなか出ない苦戦が続いた。対する城戸選手も、スペアミスやスプリットがあり上出来とは言いがたいが、第1投でヘッドピンを外さない大きな失敗のない堅実なボウリングを展開。これは言うが易しで結構難しい。

後半ややもたついたが、ダブルなどで築いた前半のリードが効いて城戸選手が逃げ切り、栄冠獲得の王手をかけた。

白木建太郎 (シーズン優勝)	8 1	8 /	7 /	9 /	6 3	9 /	8 1	8 /	6 3	×	9 -	4
	9	26	45	61	70	88	97	113	122	141		145
ハンデ込み 得点差⇒	↓25	↓37	↓37	↓30	↓40	↓38	↓38	↓39	↓39	↓29	2勝	HDCP 競技点
城戸秀行 (ワイルドカード)	9 -	×	×	9 -	9 /	9 /	6 3	8 /	5 7 2	8 1		29
	9	38	57	66	85	101	110	127	136	145		174

◆ファイナルラウンド第3戦◆

城戸選手、圧巻の3連勝で最年長 WBF 制覇！

城戸選手は前ゲーム同様の堅調を維持し、着実に点数を重ねていく。

一方、白木選手は序盤にもたついたが、3 フレームからマークを重ねて追いつけていく。だが城戸選手も7、8フレームをダブルとし、突き離しにかかった。

このまま城戸が逃げ切るか？白木がシーズン王者の意地を見せるか？

そして迎えた運命の第9フレーム、城戸選手は前フレームまでとは違う、あきらかに力の入りすぎた投球でミスをしてしまう。白木選手、ここでストライクが来ればこのゲームの勝利に大きく近づけたのだが、あろうことか痛恨のスペアミス。これで勝負はほぼ決まり。城戸選手は 10 フレを手堅くスペアでまとめ、千里シリーズの王座についた。

白木建太郎 (シーズン優勝)	s8 1	9 -	9 /	9 /	×	9 /	×	8 /	8 -	7/9		4
	9	26	45	61	70	88	97	113	122	141		145
ハンデ込み 得点差⇒	↓25	↓37	↓37	↓30	↓40	↓38	↓38	↓39	↓39	↓29	3勝	HDCP 競技点
城戸秀行 (ワイルドカード)	8 1	×	7 1	×	9 /	9 -	×	×	6 2	9/6		29
	9	38	57	66	85	101	110	127	136	145		174

激闘を終えて…

白木 0(OOO)3 城戸

レギュラーシーズンを圧巻の成績で制した白木建太郎選手

いつも東京で使っているボールを持ってくることができず、古いボールでぶっつけ本番になってしまい、思うように投げられなかった。

来年またシーズン王者となり、今度は万全の体制でのぞみたい。

初出場・初優勝
最年長チャンピオンとなった城戸秀行選手

今年久しぶりに参戦して千里シリーズに勝って、正直自分でも驚いている。

今回はハンデに助けられた気もするので、来年は実力でタイトルを獲得したい。

